



麻しん(はしか)患者の発生について

令和7年6月20日、市内医療機関から麻しん患者の届出がありました。

患者の行動や接触者について調査したところ、麻しん患者が周囲に感染させる可能性のある期間内に、商業施設の利用があり、不特定多数の人と接触した可能性が否定できないため、広く情報提供するものです。

下記の時間帯に当該施設を利用した方で、利用後10日前後経ってから、発熱や発疹等、麻しんを疑うような症状が現れた場合は、事前に最寄りの保健所に電話連絡し、指示に従って、医療機関を受診するようにしてください。

受診の際は、周囲に感染を広げないよう、公共交通機関等の利用を避けてください。

1 感染可能期間中に患者が利用した施設等について

利用日時	利用した施設など
6月10日(火)	12:00 頃から 14:00 頃 セブンパークアリオ柏
	16:45 頃から 17:10 頃 酒のやまや南柏店

※各施設等へのお問い合わせは、御遠慮くださいますようお願いいたします。

※現時点において麻しん患者が利用した施設等を利用しても感染の恐れはありません。

2 患者の概要 40歳代、男性、麻しん予防接種歴 有、海外渡航歴 無

(1) 症状 発熱、発疹

(2) 経過等

6月11日 発熱、発疹

6月12日 市内A医療機関を受診

6月13日 市内B医療機関を受診

6月20日 B医療機関にて血清IgM抗体検査の結果、麻しんと診断され、B医療機関より「麻しん発生届(検査診断例)」を受理

【本件に関するお問い合わせ先】

柏市健康医療部保健予防課 感染症・疾病対策担当

電話 04-7167-1254

【参考】麻疹(はしか)について

1 症状

- ・感染すると通常 10 日から 12 日後に 38℃前後の発熱、咳、鼻汁、くしゃみ、結膜充血などが約 2 日から 4 日間続き、解熱後、再び 39℃以上の高熱と発疹が出現します。
- ・肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者 1,000 人に 1 人の割合で脳炎が発症すると言われており、死亡する割合も、先進国であっても 1,000 人に 1 人と言われています。

2 感染経路

- ・麻疹は麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。
- ・麻疹ウイルスの主たる感染経路は空気感染で、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症すると言われています。
- ・発症した人が周囲に感染させる期間(感染可能期間)は、症状が出現する 1 日前から解熱後 3 日間まで(全経過を通じて発熱がみられなかった場合、発疹出現後 5 日間まで)といわれています。

3 潜伏期間

約 10 日～12 日間(最長 21 日間程度になる場合もあります。)

4 治療

特異的な根治療法はなく、症状を和らげる対症療法が行われます。

5 予防

- ・麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクだけでは十分に予防できません。
- ・麻疹の予防には予防接種が最も有効です。2 回の定期接種を必ず受けましょう。(麻疹風疹混合ワクチン(MR ワクチン)の予防接種を受けましょう)
- ・麻疹にかかったことや麻疹含有ワクチン(MR ワクチン、麻疹ワクチン)の予防接種歴を母子手帳等で確認してください。予防接種や麻疹にかかったかどうか不明な方は、抗体検査の実施、ワクチンの接種の可否等について、かかりつけ医に御相談ください。
- ・麻疹の流行地域への旅行や海外渡航後 2 週間程度は、健康状態(特に、高熱や全身の発疹、咳、目の充血等の症状)に注意しましょう。